

二〇二四年七月一日（参加者九名）

紫陽花の段丘埋め尽くしけり	せいじ
堂涼し天女舞ひたる欄間かな	なつき
父母を恋しと思ふ螢の夜	わかば
梅雨の溪ロップウエイは廃線に	よう子
梅雨空に相輪尖る五重塔	ぼんこ
鉢巻に汗にじませて墨書せり	せいじ
巧みなる口上に買ふ汗拭ひ	なつき

雑詠句会みのる選・二〇二四年七月一日